

国内産糖製造事業者の経営改善計画の認定について

砂糖及びでん粉の価格調整に関する法律に基づき、国内産糖製造事業者に対して交付される交付金については、当該事業者がその経営の改善を図るための措置に関する計画を作成し、その内容が適当である旨の農林水産大臣の認定を受けていることが、交付対象要件の一つとされています。

今回、認定を受けた事業者及び経営改善計画の概要は以下のとおりです。

番号	事業者名 (製品の種類)	計画の 実施期間	経営改善計画の概要	認定 年月日
1	日本甜菜製糖株式会社 (てん菜糖)	R7.10.1 ～ R11.1.31	<p>① 省エネや環境対策を考慮した設備改善による製造コストの削減 ② 大型トラック導入割合の増加等による原料集荷の効率化 ③ 褐斑病抵抗性品種の導入割合増加による低糖分リスクの回避等により、てん菜糖製造事業の経営の改善を図る。</p> <p>(生産性の向上の程度を示す指標等) ・単位製品重量当たりの製造経費を基準製造経費(令和元～5年度製造経費の5年中庸3カ年平均)に対し、計画期間の平均値又は最終計画年度の値を2.03%以上低減させる。 ・原料輸送の効率化(大型トラック導入割合55%、直送比率80%への向上)により、物流の平準化を図り、貯蔵コスト削減させる。 ・褐斑病抵抗性品種の導入割合を、5%から70%へ引き上げ、病害による低糖分のリスクを抑制し、生産の安定化を図る。</p>	R8.1.28
2	ホクレン農業協同組合連合会 (てん菜糖)	R7.10.1 ～ R11.1.31	<p>① 原料てん菜受払管理システムの改修による受払管理業務の効率化 ② 全窒素分析装置導入による分析業務の効率化 ③ 含蜜糖製品の拡販に努め、需要に応じた生産数量を確保することにより収益の向上等により、てん菜糖製造事業の経営の改善を図る。</p> <p>(生産性の向上の程度を示す指標等) ・単位製品重量当たりの製造経費を基準製造経費(令和元～5年度製造経費の5年中庸3カ年平均)に対し、計画期間の平均値又は最終計画年度の値を2.03%以上低減させる。 ・中斜里製糖工場の原料受払管理システムを改修し、業務効率化を通じて製糖期の要員を4名削減させる。 ・中斜里製糖工場へ全窒素分析装置を導入し、業務効率化によって製糖期の要員を1名削減させる。</p>	R8.1.28
3	北海道糖業株式会社 (てん菜糖)	R7.10.1 ～ R11.1.31	<p>① 製糖所の工程見直し ② 予防保全体制の強化 ③ DX化の推進による業務効率化等により、てん菜糖製造事業の経営の改善を図る。</p> <p>(生産性の向上の程度を示す指標等) ・単位製品重量当たりの製造経費を基準製造経費(令和元～5年度製造経費の5年中庸3カ年平均)に対し、計画期間の平均値又は最終計画年度の値を2.03%以上低減させる。 ・食料・農業・農村政策審議会甘味資源部会における議論・検証を踏まえ、作付面積が適正化となるよう関係者との共同した取組を図る。 ・複合抵抗性品種の普及割合を 令和6砂糖年度の73%から令和9年砂糖年度までに78%へ増加させる。</p>	R8.1.28
4	新光糖業株式会社 (甘じゃ糖)	R7.10.1 ～ R11.1.31	<p>① さとうきび農家の機械化一貫体系の推進等による原料生産量の確保 ② 分蜜糖の精製糖メーカーへの直接販売による手数料削減等により、甘じゃ糖製造事業の経営の改善を図る。</p> <p>(生産性の向上の程度を示す指標等) ・単位製品重量当たりの製造経費を基準製造経費(令和元～5年度製造経費の5年中庸3カ年平均)に対し、計画期間の平均値又は最終計画年度の値を1.02%以上低減させる。 ・制御設備や排水処理施設、加工施設糖の整備による機能強化により、労働生産性を2%以上向上させる。 ・分みつ糖の販売方法の変更により、販売手数料を削減する。</p>	R8.1.28
5	富国製糖株式会社 (甘じゃ糖)	R7.10.1 ～ R11.1.31	<p>① 関係機関と連携した生産振興による原料生産量の増加、工場稼働率の向上 ② ボイラー周辺設備の半自動化による製糖臨時従業員の削減等により、甘じゃ糖製造事業の経営の改善を図る。</p> <p>(生産性の向上の程度を示す指標等) ・単位製品重量当たりの製造経費を基準製造経費(令和元～5年度製造経費の5年中庸3カ年平均)に対し、計画期間の平均値又は最終計画年度の値を1.02%以上低減させる。 ・圧搾機用オイルを高潤滑・高粘着性へ変更し、潤滑油使用量を令和9年度までに5%以上削減する。 ・ボイラー周辺設備の更新と半自動化により、製糖臨時従業員を2名削減する。</p>	R8.1.28

番号	事業者名 (製品の種類)	計画の 実施期間	経営改善計画の概要	認定 年月日
6	生和糖業株式会社 (甘しや糖)	R7.10.1 ～ R11.1.31	<p>① 社員の多能工化等による少人数でも制御可能な製造体制構築</p> <p>② 老朽化設備の更新による労働生産性の向上等により、甘しや糖製造事業の経営の改善を図る。</p> <p>(生産性の向上の程度を示す指標等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単位製品重量当たりの製造経費を基準製造経費(令和元～5年度製造経費の5年中庸3力年平均)に対し、計画期間の平均値又は最終計画年度の値を1.02%以上低減させる。 ・結晶缶の課題改善により、糖度回収率を98%以上(約2ポイント上昇)に向上させる。 ・包装工程の自動化(7名→4名人員削減)、職員の多能工化を推進し、深刻な人手不足に対応した労働生産性の向上と省人化した人員体制を構築する。 	R8.1.28
7	南西糖業株式会社 (甘しや糖)	R7.10.1 ～ R11.1.31	<p>① 関係機関と協力した原料の安定確保による工場稼働率の向上</p> <p>② ジュースヒーターの更新等による労働時間低減</p> <p>③ ヤードクレーントロリの更新による作業効率の向上等により、甘しや糖製造事業の経営の改善を図る。</p> <p>(生産性の向上の程度を示す指標等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単位製品重量当たりの製造経費を基準製造経費(令和元～5年度製造経費の5年中庸3力年平均)に対し、計画期間の平均値又は最終計画年度の値を1.02%以上低減させる。 ・製糖副資材使用の最適化により、補助材料費を令和5年度実績に対して、令和9年度までに5%以上低減させる。 ・甘しや糖蜜の販売価格見直し等により、副産物控除額を令和5年度実績に対して、令和9年度までに2倍以上に増加させる。 	R8.1.28
8	南栄糖業株式会社 (甘しや糖)	R7.10.1 ～ R11.1.31	<p>① 関係機関と協力した近年増加傾向にある原料生産量の維持</p> <p>② 老朽化設備の更新と自動制御化の推進による維持管理の効率化と修繕コストの低減等により、甘しや糖製造事業の経営の改善を図る。</p> <p>(生産性の向上の程度を示す指標等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単位製品重量当たりの製造経費を基準製造経費(令和元～5年度製造経費の5年中庸3力年平均)に対し、計画期間の平均値又は最終計画年度の値を1.02%以上低減させる。 ・バガス等の有効活用により、A重油の原料トン当たりの使用量を令和元～5砂糖年度の5年中庸3か年平均に対し、令和9砂糖年度までに5%以上削減させる。 ・老朽化設備の更新・長寿命化し、メンテナンス作業を効率化することで、修繕費を令和元～5砂糖年度の5年中庸3か年平均に対し、令和9砂糖年度までに3%以上削減させる。 	R8.1.28
9	与論島製糖株式会社 (甘しや糖)	R7.10.1 ～ R11.1.31	<p>① 関係機関と協力した原料生産量の増加、工場稼働率の向上</p> <p>② 金属検出器導入による圧搾担当人員の削減等により、甘しや糖製造事業の経営の改善を図る。</p> <p>(生産性の向上の程度を示す指標等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単位製品重量当たりの製造経費を基準製造経費(令和元～5年度製造経費の5年中庸3力年平均)に対し、計画期間の平均値又は最終計画年度の値を1.02%以上低減させる。 ・与論島糖業振興会の実施する事業の推進により、収穫面積を令和6砂糖年度に対し、令和9砂糖年度までに1%以上増加させる。 ・シュレツッドケーエンエレベータの更新と金属検出器の導入により、異物除去を効率化し、圧搾担当を7名から5名へ削減させる。 	R8.1.28
10	ゆがふ製糖株式会社 (甘しや糖)	R7.10.1 ～ R11.1.31	<p>① 関係機関と協力した原料生産量の増加、工場稼働率の向上</p> <p>② 優良品種(農林27号、農林29号)の導入促進</p> <p>③ 老朽設備の修繕・改良による労働生産性の向上と製造コストの低減等により、甘しや糖製造事業の経営の改善を図る。</p> <p>(生産性の向上の程度を示す指標等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単位製品重量当たりの製造経費を基準製造経費(令和元～5年度製造経費の5年中庸3力年平均)に対し、計画期間の平均値又は最終計画年度の値を1.02%以上低減させる。 ・単収向上のため、株出の萌芽性に優れ、高糖多収な品種「農林27号」「農林29号」について、収穫面積を令和6砂糖年度に対し、令和9砂糖年度までに5%増加させる。 ・工程内の糖度損失を抑制し、糖度回収率を令和6砂糖年度に対し、令和9砂糖年度までに2%向上させる。 	R8.1.28
11	沖縄県農業協同組合 (甘しや糖)	R7.10.1 ～ R11.1.31	<p>① 関係機関と連携した農作業受託による労働力低下対策</p> <p>② 脱葉性に優れ機械刈取りに適した品種の推進等により、甘しや糖製造事業の経営の改善を図る。</p> <p>(生産性の向上の程度を示す指標等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単位製品重量当たりの製造経費を基準製造経費(令和元～5年度製造経費の5年中庸3力年平均)に対し、計画期間の平均値又は最終計画年度の値を1.02%以上低減させる。 ・さとうきびの収穫面積を、令和元～5砂糖年度の5年中庸3か年平均に対し、令和9砂糖年度までに5%増加させる。 ・脱葉性に優れ機械刈取りに適した品種、沖縄県新推奨品種を、令和元～5砂糖年度の5年中庸3か年平均に対し、令和9砂糖年度までにそれぞれ3%、2%増加させる。 	R8.1.28

番号	事業者名 (製品の種類)	計画の 実施期間	経営改善計画の概要	認定 年月日
12	久米島製糖株式会社 (甘しや糖)	R7.10.1 ～ R11.1.31	<p>① 関係機関と協力した原料生産量の増加、工場稼働率の向上 ② 品種構成の改善及び新鮮原料搬入徹底による製糖歩留の向上 ③ ボイラー設備や結晶缶設備等の更新による製造コストの削減等により、甘しや糖製造事業の経営の改善を図る。</p> <p>(生産性の向上の程度を示す指標等) ・単位製品重量当たりの製造経費を基準製造経費(令和元～5年度製造経費の5年中庸3力年平均)に対し、計画期間の平均値又は最終計画年度の値を1.02%以上低減させる。 ・管内のさとうきびの収穫面積を、令和6事業年度に対し、令和9事業年度までに10%増加させる。 ・株出多収品種で、機械刈りにも適した品種「RK10-29」及び「RK10-1007」の普及率を、令和6事業年度に対し、令和9事業年度までに10%まで増加させる。</p>	R8.1.28
13	大東糖業株式会社 (甘しや糖)	R7.10.1 ～ R11.1.31	<p>① 早期植付や株出管理作業の徹底等による原料生産量の増加、工場稼働率の向上 ② 大東島に適した新品種の創出と品種構成の適正化による原料甘しや糖度の向上 ③ 圧搾設備の導入による糖度搾出率の向上等により、甘しや糖製造事業の経営の改善を図る。</p> <p>(生産性の向上の程度を示す指標等) ・単位製品重量当たりの製造経費を基準製造経費(令和元～5年度製造経費の5年中庸3力年平均)に対し、計画期間の平均値又は最終計画年度の値を1.02%以上低減させる。 ・製糖日数における原料切れによる停搾日数の割合を令和6事業年度に対し、令和9事業年度までに5%以上低減させる。 ・副産物の売上を令和6事業年度に対し、令和9事業年度までに5%以上増加させる。</p>	R8.1.28
14	北大東製糖株式会社 (甘しや糖)	R7.10.1 ～ R11.1.31	<p>① 原料生産量の目標達成、工場稼働率の向上 ② 糖度回収率の向上 ③ 老朽化設備の更新による製造コストの削減等により、甘しや糖製造事業の経営の改善を図る。</p> <p>(生産性の向上の程度を示す指標等) ・単位製品重量当たりの製造経費を基準製造経費(令和元～5年度製造経費の5年中庸3力年平均)に対し、計画期間の平均値又は最終計画年度の値を1.02%以上低減させる。 ・原料の品質劣化対策に努め、糖汁の安定供給を図ることにより、結晶・分離工程での糖分ロス低減し、糖度回収率を、令和9年度までに87%以上に向上させる。 ・適期の夏植を行える体制の強化、農家への意識啓発と適期植え付けの推進を図り、夏植新植の比率を、令和9年度までに40%に増加させる。</p>	R8.1.28
15	沖縄製糖株式会社 (甘しや糖)	R7.10.1 ～ R11.1.31	<p>① 工場副産物(バガス等の有機物)農地還元による地力増進等により原料生産量の増加、工場稼働率の向上 ② 老朽設備の更新等により、甘しや糖製造事業の経営の改善を図る。</p> <p>(生産性の向上の程度を示す指標等) ・単位製品重量当たりの製造経費を基準製造経費(令和元～5年度製造経費の5年中庸3力年平均)に対し、計画期間の平均値又は最終計画年度の値を1.02%以上低減させる。 ・低単収となっている株出ほ場の更新及び夏植への切替を推進し、夏植面積を令和6年度に対し令和9年度までに5.8%増加させる。 ・芽出、株出萌芽に優れ、多茎数品種である「農林22号」「RK10-29」の普及率を令和6年度に対し、令和9年度までに15%まで増加させる。</p>	R8.1.28
16	宮古製糖株式会社 (甘しや糖)	R7.10.1 ～ R11.1.31	<p>① 地力増進対策、病害虫防除の徹底による単収向上 ② ハーベスターオペレーターとの連携強化や収穫体制の最適化による安定した原料供給 ③ 一日当たり圧搾量の向上等による効率的な製糖等により、甘しや糖製造事業の経営の改善を図る。</p> <p>(生産性の向上の程度を示す指標等) ・単位製品重量当たりの製造経費を基準製造経費(令和元～5年度製造経費の5年中庸3力年平均)に対し、計画期間の平均値又は最終計画年度の値を1.02%以上低減させる。 ・糖蜜販売単価を、令和6年度に対し、令和9年度までに5%向上させる。 ・GPSでハーベスターの稼働状況を把握し、作業進捗や遅延を可視化することで、収穫作業を平準化・効率化し、新鮮原料の確保と製糖工程の安定化を図る。</p>	R8.1.28
17	石垣島製糖株式会社 (甘しや糖)	R7.10.1 ～ R11.1.31	<p>① 原料生産量の増加、工場稼働率の向上 ② さとうきび生産の機械化一貫体系の推進 ③ 自動制御設備の導入等による糖度回収率の向上等により、甘しや糖製造事業の経営の改善を図る。</p> <p>(生産性の向上の程度を示す指標等) ・単位製品重量当たりの製造経費を基準製造経費(令和元～5年度製造経費の5年中庸3力年平均)に対し、計画期間の平均値又は最終計画年度の値を1.02%以上低減させる。 ・ピレットプランターによる植付けの普及率を、令和6年度に対し、令和9年度までに10%以上向上させる。 ・自動制御設備の導入及び運用、老朽化・処理能力不足設備の改善等により操業を安定化し、糖業回収率を令和6年度に対し、令和9年度までに2%向上させる。</p>	R8.1.28

(問い合わせ先)
農産局地域作物課
電話:03-3502-8111(代) (内線 4842)
FAX:03-3593-2608